

◎国宝館の経費

国宝館管理運営事業 【 鎌倉国宝館 】

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境: 豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

健やかで心豊かに暮らせるまち

生涯学習: 学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えるとともに、調査・研究、展示をとおして市民等の利用に供するため。

効果 現在国宝7件45点、重文90件882点をはじめ1,046件4,822点を収蔵・保管しており、(国宝・重文は全て寄託品)、これらの文化財の保全と活用を図る。

【事業の内容】

(1) 国宝館運営事業

- ・ 国宝館を円滑に運営するため国宝館協議会を開催し、また、非常勤嘱託員を雇用した。
- ・ 財団法人氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るため補助金を交付した。

(2) 資料収集・展示出版事業

- ・ 特別展・常設展を開催し、また、関係図書を出版・頒布して市民等の利用に供した。
- ・ 所蔵資料の保存修理を行った。

(3) 国宝館管理事業

- ・ 国宝館の適切な維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

鎌倉国宝館新館の大規模修繕(4-3-3-⑥)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,503	91,811	88,285		3,526
主な支出内訳				
・ 国宝館運営事業				
国宝館協議会委員報酬 6人				84
非常勤特別職員報酬 1人				3,240
近世文書調査嘱託員報酬 1人				1,326
資料調査嘱託員報酬 1人				228
パソコン賃借料				181
氏家浮世絵コレクション補助金				546
・ 資料収集・展示出版事業				
出品等謝礼				1,977
観覧券・ポスター・図録等印刷製本費				2,915
美術品運搬料				2,951
県指定木造十二神将立像修理委託料				4,935
展示補助業務委託料				773
源範頼画像保存修理委託料				500
若宮八幡神画像保存修理委託料				1,997
展示案内看板・懸垂幕製作委託料				189

・ 国宝館管理事業

国宝館光熱水費	7,780
新館電気ボイラーNo.2修繕料	2,415
本館屋根(トップライト部)修繕料	3,234
その他各所修繕料	665
昇降機保守検査等手数料	1,199
総合管理業務委託料	17,514
空調設備自動制御機器保守点検委託料	1,881
空調設備定期点検委託料	1,846
殺虫燻蒸委託料	2,397
機械警備等委託料	1,053
土地賃借料	8,224
収蔵庫免震床・免震棚購入費	15,750

主な特定財源

・ 国県支出金	2,467
---------	-------

鎌倉国宝館展覧会開催状況

名 称	会期	日数	入館者数	観覧料
		日	人	円
常設展	4/1～4/6	6	1,134	308,640
特別展「鎌倉の至宝－国宝・重要文化財－」	4/19～5/25	33	9,368	3,866,250
特別展「鎌倉の羅漢図」	5/29～7/6	34	5,668	1,683,460
常設展(観音さま特集)	7/10～8/3	22	2,580	648,680
常設展(水墨画特集)	8/7～8/31	22	2,579	686,820
特別展「国宝鶴岡八幡宮古神宝」	9/4～10/5	28	5,080	1,718,610
特別展「鎌倉の精華－鎌倉国宝館開館八十周年記念－」	10/10～ 11/24	40	15,288	7,256,710
常設展(仏教美術特集)	11/29～ 12/24	22	2,312	604,250
特別展「肉筆浮世絵の美－氏家浮世絵コレクション－」	1/4～2/15	38	7,591	2,345,500
特別展「ひな人形」	2/19～3/31	35	6,302	2,066,080
合 計		280	57,902	21,185,000

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-23 国宝館管理運営事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	188	国宝館運営事業						
		190	資料収集・展示出版事業						
		192	国宝館管理事業						
		1275	国宝館管理事業						
主管課	鎌倉国宝館			関連課					
分野名	歴史環境 生涯学習								
目標 (目標値)	良質な資料の購入のほか受贈・寄託に努める。他博物館等からの借用により、展示の充実をはかる。 収蔵件数1,100件(国宝7件、重文90件、重美13件を含む)。年間観覧者数70,000人								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・18年度12月は空調設備改修のため1か月間休館した				
運営資源 状 況	入館者数	57,902人	58,101人	52,302人					
	決算値	88,285千円	69,411千円	124,667千円					
	(国・県)	2,467千円	2,467千円	2,467千円					
	(負担金等)	22,801千円	22,131千円	18,596千円					
	(一般財源)	63,017千円	44,813千円	103,604千円					
	人員配置数	4人	4人	4人					
	人 件 費	35,847千円	36,330千円	36,895千円					
協働の パートナー	(財)氏家浮世絵コレクション	(財)氏家浮世絵コレクション	(財)氏家浮世絵コレクション						
事務事業 運営経費	総事業費	124,132千円	105,741千円	161,562千円					
	市民1人当 りの経費	703円	601円	923円					
	対象者1人 当りの経費	2,144円	1,820円	3,089円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
国宝・重文の展示件数	◎	目標値	年200件	年200件	年200件	年200件	年200件		
		実績値	年159件	年230件					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
観覧料収入	○	目標値	25,700,000円	25,700,000円	25,700,000円	25,700,000円	25,700,000円		
		実績値	20,399,250円	21,185,000円					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
特別展の回数	◎	目標値	6回	6回	6回	6回	6回		
		実績値	7回	6回					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
窓口業務の民間委託	◎	目標値	委託	委託	委託	委託	委託		
		実績値	委託(総合管理業務)	委託(総合管理業務)					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	平塚市	秦野市	横須賀市	大和市	鎌倉市
施設名称	歴史博物館	市民ミュージアム	市立博物館	文化資料館	博物館	桜土手古墳展示館	自然・人文博物館	つる舞の里歴史資料館	鎌倉国宝館
展示面積	2,224㎡	5,709㎡	1,907㎡	218㎡	1,529㎡	527㎡	1,941㎡	57㎡	595㎡
入館者数	未回答	176,804人	128,124人	6,179人	67,674人	20,394人	54,082人	5,149人	57,902人
観覧料収入	未回答	6,465,970円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	21,185,000円
指定文化財収蔵件数	未回答	県1、市476	市4	0	市9	県1	重2、県2、市3	県2	国7、重90、美13、県23、市79
指定文化財展示件数	未回答	0	市4	0	市1	県1、市1	重1、県1、市2	県1	国21、重209、美12、県88、市111
※国は国宝、重は重要文化財(国指定)、美は重要美術品、県は県指定文化財、市は市指定文化財									

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	<p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <p>(1) 観覧者数・観覧料収入の増 (2) 展示資料の充実 (3) 収蔵作品の安全な保管・展示 (4) 収蔵作品の充実</p>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	<p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <p>(1) 開館80周年記念展を開催して話題性を喚起し、これに伴う観覧者数・観覧料収入の増がはかれた。 (2) 魅力ある特別展のテーマ設定、展示品の選定をはかり、また社寺や他博物館等から優品を借用・展示し、来館者の興味を促した。 (3) 収蔵作品を大規模地震の被害から守るため、収蔵庫内に免震設備を設置した。また本館彫刻展示スペースに免震設備を設置する予算要求を行った。さらに本館屋根トップライト部を修繕し、展示作品の安全をはかった。殺虫燻蒸については、燻蒸薬剤の有効性と安全性について調査・検討した結果、従来使用していた薬剤より毒性が低く、また殺虫だけでなく黴に対する効果もある酸化プロピレン製剤(商品名「アルプ」)を次年度より使用することとした。また収蔵品を虫・黴害の被害から守るための日常的観察(IPM)を実施している。 (4) 寄託資料が2件あり、また収蔵作品のうち新たに1件が市指定に指定され収蔵作品の内容が充実した。</p>
	未解決の課題・問題点	<p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <p>(1) 観覧料収入は一定程度増加したが、目標値には至っていない。 (2) 国宝・重要文化財の展示件数は増加したが、観覧者数の増には至らなかった(開館日数の関係で前年度より1日平均1名の増)。 (3) 殺虫燻蒸ガスは前年度と同様であった。 (4) 寄託資料のうち8件が所有者の求めにより返却され、収蔵品の総数が減となった。</p>
	今後の方針(対応・改善)	<p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <p>(1) 話題性のある特別展を企画し、さらなる周知活動につとめる。 (2) 現有人員の人的限界から特別展の回数を増やすことには限界があるため、特別展のテーマ設定や魅力ある展示品の選定などをさらに工夫する。 (3) 平成21年度に本館彫刻展示スペースに免震設備を設置し、展示品の安全をはかる。また、21年度から殺菌効果のある薬剤を使用するが、製造中止となった元来の燻蒸ガスと同等の安全性と効果のあるガスが開発されていない現状で、収蔵品を虫・黴害の被害から守るための日常的観察(IPM)をさらに強化する。 (4) 新たな寄託等の働きかけを継続する。</p>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	<p>A: 充実又は拡大 C: 統合又は縮小 E: 事業完了 B: 現状のまま継続 D: 廃止又は休止</p>	B	改善の必要性
			有
<p>鎌倉国宝館は、鎌倉地方を代表する国宝や重要文化財が社寺等から数多く寄託されており、鎌倉の貴重な文化財を安全に後世に伝えるための重要な施設である。 また、展示の面においても、他の館に比べて優秀な作品と高い質を保持しており、極めて良好な生涯学習環境を提供するとともに、貴重な観光資源ともなっている。 観覧者等も増加の傾向にあり、鎌倉の特性ある施設として本来的には充実・拡大が望まれるが、厳しい財政状況も考慮し、当面現状を維持すべきである。</p>			
担当課長氏名:	鎌倉国宝館 副館長 永井正憲		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	<p>A: 充実又は拡大 C: 統合又は縮小 E: 事業完了 B: 現状のまま継続 D: 廃止又は休止</p>	B	改善の必要性
			有
<p>鎌倉市には他市に比して多くの文化財が遺されおり、鎌倉国宝館はこれらを保護・活用していく施設として重要であるとともに、総合計画上の「歴史を継承し、文化を創造するまち 健やかで心豊かに暮らせるまち」を実現する上で不可欠な施設でもある。 また、展覧会を通して、学校教育・観光事業にも貢献しており、さらに充実・拡大が望まれるが、財政状況が厳しい中で、当面は現状のまま維持するのが妥当と思われる。</p>			
担当部名	生涯学習部	部長名	金川剛文